

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

「チームえりも」本年度のキーワード 「なぜ家庭学習の充実か」

なぜ、家庭学習の充実が求められるのか。次のグラフは、えりも町教育向上対策委員会が6月、小学生（278名）中学生（138名）の全員にアンケートを取った結果です。

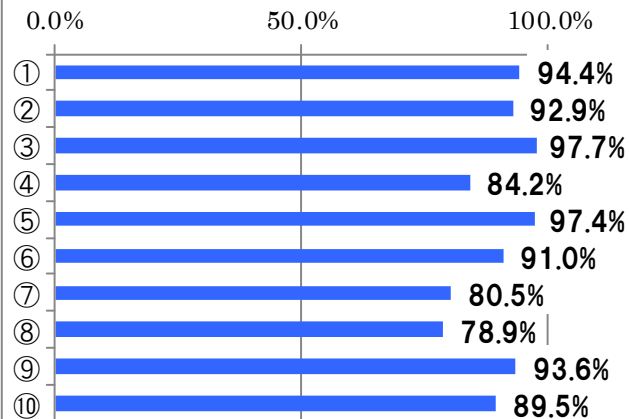
昨年度に比べると、小学生で+8.3、中学生で-0.8ポイントの結果であることから、今年度は、一層、家庭学習の習慣を身に付けさせることを目標キーワードに掲げています。

小学生の場合

- ①国語の学習（授業）はよくわかる。
- ②算数の学習（授業）はよくわかる。
- ③授業のはじめに、先生が学習の目標（めあてや課題）を教えてくれる。
- ④ノートは黒板をよく見て、丁寧に書いている。
- ⑤授業の最後に、先生が学習のまとめ（ふりかえり）の活動をしてくれる。
- ⑥家庭学習では、自分の取り組む内容が分かっている、やり方が身についている。
- ⑦家庭学習では、時間の目標を立ててきちんと達成できている。

- ⑧授業中は、正しい姿勢で座ることができている。
- ⑨名前を呼ばれたらきちんと返事をする事ができている。
- ⑩発表するときは、みんなに聞こえる声で話すことができる。

小学生調査（平成28年6月）



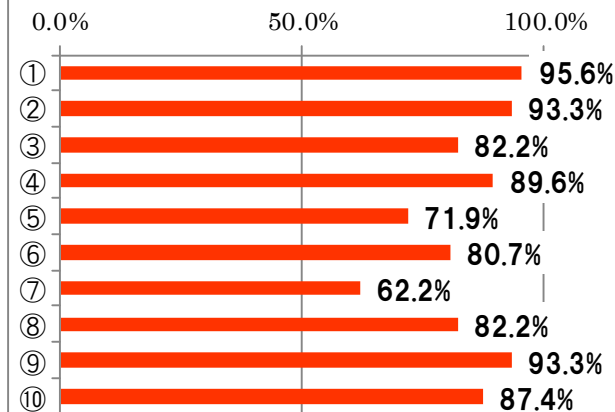
【えりも町学習状況調査より(小学生 278人)】

中学生の場合

- ①学校の授業は理解できている。
- ②授業の初めに、その1時間の学習のめあて（目標）を理解して学習している。
- ③授業（学習）内容を、きれいにノートにまとめている。
- ④授業の最後に、まとめ（ふりかえり）の活動をしている。
- ⑤学校で学んだことを、他の教科や普段の生活などで活用している。
- ⑥家庭での学習では、自分の取り組む内容（課題）がわかっている、やり方が身についている。

- ⑦家庭での学習では、時間の目標を立ててきちんと達成できている。
- ⑧授業中は正しい姿勢で、集中して学習に取り組むことができている。
- ⑨名前を呼ばれたり指名されたら、きちんと反応（返事）することができている。
- ⑩発表するときは、相手に伝わりやすい声量、内容で話すことができている。

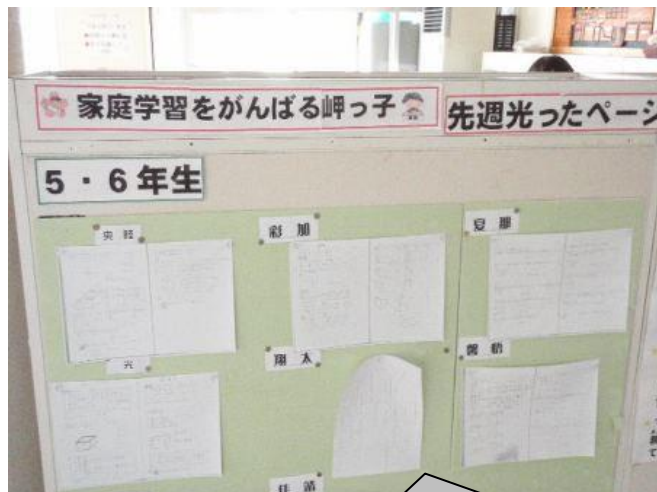
中学生調査（平成28年6月）



【えりも町学習状況調査より(中学生 138人)】

学校では、夏休み対策として、希望する児童生徒に「家庭学習」に代わる振り返り学習をしています。学んだことは振り返らなければ、誰しも忘れてしまうものです。調査結果を受け、2学期は、小学生は9割、中学生は8割を目指す家庭学習の取組を進めます。ご家庭でも、PTA活動の絆を深め、ご協力を切にお願いします。

家庭学習をがんばる岬っ子



毎週金曜日に家庭学習ノートを集め、『先週光ったノート』を廊下に貼り出し家庭学習の頑張りを称賛しています。

今年で3年目になる取組ですが、児童は、頑張っているすばらしいノートを見て、自らもていねいにノートを取ろうとする気持ちや、授業でも真剣にノートを取るような態度を身に付けようとしています。

各学校では、えりも岬小学校の取組のように、ノート指導に力を入れ、授業で学んだことが家庭で振り返ることができるように、見開きに記述することを指導しています。

空欄がある場合は、家庭学習で類似した問題を解くなどに活用しています。

岬小読書マラソン



4月から「岬小読書マラソン」を行っています。これは、子どもたちが自分で読んだ本を「図書紹介カード」に題名と感想を「おすすめ度」として紹介し、読書に興味をもってもらう取組です。全校で1年間に500冊以上を読むことを目標にしています。すでに1年生で70冊も制覇した頑張り屋さんがいるようです。

この他にも、帰りの会の最後に「5分間読書タイム」を設定し、静かに読書をしてから下校するようにしています。

この取組は、最近、子どもたちが読書離れが叫ばれる中で、物事をしっかり考えたり判断したりすることを育てるために有効な手立てとなるすばらしい取組といえます。

襟裳岬少年神楽



ふるさと学習や表現活動の一環として、伝統文化の歴史を学び、その歴史を表現する「襟裳神楽」に取り組んでいます。毎週1時間、「総合的な学習の時間」で神楽の歴史を学んだり、伝統を表現することを学習しています。

昨年27年12月には、「ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業成果発表会」で披露するなど、すばらしい発表となりました。

その他に、えりも灯台まつりや町民文化祭で町民に披露し、高い評価を得ています。

この活動は、昭和57年(1982年)に結成され、一時、活動を休止したが、平成22年、伝統芸能の継承として復活しました。現在、地域の指導者の駿河さんと吉井さんのもとで「総合的な学習の時間」で地域の学校支援活動として行われています。